

「国交省は廃線申請の撤回を、 久留里線と地域を守る会が要請行動



国交省鉄道局担当者に「廃線申請撤回」の要望書を手渡す三浦代表と参加者。(9/28)

9月28日、久留里線と地域を守る会は、国土交通省に対して、「久留里線（久留里～上総亀山間）の廃止届について再考を求める要望書」の提出と要請行動を行いました。

三浦代表が鉄道存続の訴え

要請行動には、久留里線の存続を求める亀山の会、内房線と地域を守る会、外房線と地域を守る会など、地域の仲間を含めて12名が参加しました。国交省は、鉄道局鉄道事業課地方鉄道再構築推進室、同都市鉄道政策課、総合政策局地方交通課の担当者3名が対応しました。

三浦代表は、久留里線が高校生や高齢者等交通弱者にとって不可欠の公共交通機関であること、豊かな自然や温泉等を有する房総半島の重要な観光拠点であること、災害

があること、災害が激甚化する中で物資輸送等高い潜在能力があることを訴えました。

久留里～上総亀山間の存続を求める署名は1万2千筆を超えて集まってい

ます。沿線住民は鉄道の存続を求めているのです。また、5月に行われた廃線に関する意見聴取では久留里線の会も含めて地元からは全員が廃線に反対する意見を述べています。

三浦代表はこの事実を伝え、JR東日本に対して久留里～上総亀山間の廃止届の撤回及び地域との再協議を行うよう指導すること、地域公共交通の維持に向けて国として必要な財政的・技術的支援を行うことを求めました。

国交省の回答に抗議の声

国交省は、「廃線申請は、JRの届けに不備がなければ受理する」「久留里線は大量輸送という鉄道の特性を発揮できていない」「有識者会議で『過度な内部補助はすべきではない』との意見が出ている」などと回答しました。JR東が記者会見やマスコミ等への説明で使ってきた言葉を、そのまま使った答弁に対して、参加者から抗議の声が上がりました。

最後に、台風被害で不通になっている久留里～上総亀山間の早期復旧をJRに指導するよう要求しました。

久留里線の会として、今後も国交省やJRへの要請行動等を行うことが確認されています。地域とともに、久留里～上総亀山間の早期復旧、廃線申請の撤回の声をあげよう。